

インフルエンザワクチン今年は・・・

2011.10.12

今年もすでに10月。2年前の今頃は新型インフルエンザ（現在は新型とは言わず通常の季節型インフルエンザとして取り扱われるようになりました。）の流行で、皆さんはとても不安に思われたことでしょう。今年もすでに東京都や山口県などで局所的な流行が散見され、インフルエンザの流行はすぐそこまで来ているようです。

インフルエンザを予防する手段として、手洗いうがいなどの一般的なウイルス感染などを予防する方法の他に、予防接種を行うという方法があります。

インフルエンザの予防接種は今年、特に子供の接種の対象・方法と量に大きな変化がありました。

まず対象・方法ですが、今までは生まれてすぐのお子さんでも予防接種としては可能でしたが、今年から6ヶ月以降のお子さんが接種の対象になりました。接種量は年齢によって大きく変化し、6ヶ月から3歳までは1回0.25mlで2回接種、3歳から13歳未満は0.5mlで2回接種となりました。13歳以上では従来と同じ0.5mlで1回ないし2回接種です。

インフルエンザワクチンは他のワクチンと違い、インフルエンザに罹らないことを目標としたワクチンではなく、あくまでも重症化を防ぐワクチンです。子供にとって重症なインフルエンザ脳炎・脳症は、インフルエンザワクチンによって防ぐことはできません。とくに、小さなお子さんで、三種混合ワクチンや麻しん・風疹混合ワクチンなどを後回しにしてまで接種しなければならないものでもありません。必要であれば、他のワクチンと同時接種を行うことは可能ですので、接種を行うかかりつけ医に相談して下さい。

昨年までありました新型インフルエンザ対策としての補助は今年はありませんので、特別に補助を行なっている市町村以外は全て有料となっております。接種量が増えたことから、接種料金も昨年から上がっている所が大半と思われるので、接種を希望される方は早めにご相談されるといいと思います。